

新風

平成26年4月30日
多治見市立陶都中学校
No.2

エネルギーでそして多様な陶都中の朝！

多治見市立陶都中学校 松山 央

今年度最初の授業参観、そしてPTA総会・懇談会が、お陰様で無事終了いたしました。当日はたくさんの保護者の方にご参加いただき、誠にありがとうございました。今年度より陶都中に赴任した私自身も、皆様方の前でご挨拶ができ、これでようやく陶都の一員として腰を落ち着けることができたような感じとなりました。改めて、よろしくお願いたします。

さて、今回はこの紙面にて、これまでに私自身が感じた陶都中のよさの中から、そのほんの一部ではありますが、ご紹介してみたいと思います。それは、見出しにもありますように陶都中の朝の営みです。

陶都中の朝は、大変エネルギーです。そして、多様です。時間帯としては「朝の自主活動」という名前で、7時35分からスタートし20分間が確保してあります。専ら部活の練習時間にあてられているのですが、授業時間ではないので、自分のペースに合わせて登校してくる子どもたちもたくさんいます。その子どもたちと挨拶を交わしながら外を回ってみると、野球、サッカー、ソフトの子どもたちが、実にきびきびとした組織的な練習を繰り返しています。陸上部の子どもたちは、器具を使った筋トレや軽快なランニング。女子バスケは輪になってサーキットトレーニングに精を出しています。武道場の奥では、剣道部員が、手前では卓球部員が所狭しときびきび動いています。アリーナをのぞくと、バレー部と男子バスケがスピード感あふれる練習を行っています。さらにプール側に行くと水泳部員が道路でトレーニング。テニスコートでは、限られたコートを手を使って多数の部員がボールを打っています。校舎の中からは、聞き慣れたブラスバンド部の様々な楽器の音が流れてきます。黙々と作品制作に取り組む美術部員。パソコン室では、囲碁将棋部の活動やパソコン部の部員が画面を見つめています。被服室では、家庭生活部が活動をしています。教師もそれぞれの場所に付き、声を掛け指導をしています。この時期は、1年生の仮入部ということで、一段と賑やかになっています。



中学校なら当たり前の光景ということでしょうか。でも、これだけの多くの部活が外でも中でも、短時間のうちに集中して練習が行われるのは、見ていて大変爽快です。今の私の一番好きな時間帯といえます。これが、昨年度まで外から畏敬の念で見ていた陶都中の底力なのだ、少し合点がいきました。

先日は、学校周辺のランニングコースを回ってみました。緑陰の中を軽快に走る子どもたちがうらやましくなりました。自分も近いうちに是非参加してみようと思った次第です。

大いなるエネルギーを秘めた陶都中。これからの伸びがとても楽しみです。

新しい環境での始まり

多治見市教育委員会

この欄が「親育ち」について考えるきっかけになることを願っています。

新しい学校生活が始まって1ヶ月です。子どもたちは、早寝・早起きの規則正しい生活ができていますか。そして、朝ごはんをしっかり食べて登校できていますか。

年度初めは、家族の皆さんの仕事や生活に変化があります。また、休みが続いて、食も含めて生活が不規則になりがちな時期でもあります。子どもたちは普段の生活が不規則ですと、規則正しい生活に戻すのに心に大きな負担を感じてしまいます。この負担感がその後の学習や集団生活に向かう意欲を弱くしてしまいがちです。

この時期に今一度、子どもの気持ちをよく聞きながら、自分で目標をもって生活できるように、家族と一緒に話し合ってみましょう。